

クラス通信

麻生本校・円山校

クラスユニック小学部

令和5年2月号

2023.2.14発行

保護者の皆様へ

副理事長・副校長 福島 拓

クラス通信2月号をお届け致します。今回の受験情報では、2022年度道内私立中学受験の入試結果をお伝えいたします。これから中学受験を控えている方や検討されている方はぜひご覧下さい。

さて、クラスユニック小学部では使用教材の四谷大塚の学習進度を加味して、2月から新学年としております。進級前から突然難しい内容に入ると戸惑われている方もいるかもしれませんが、環境変化のある進級後に始めるよりも、余裕のある2月から開始し、ゆとりを持たせることが重要と考えます。まずは新分野の勉強を始め、苦手な分野があれば、それを春休み期間に復習ができるよう指導して参ります。

2023 中学入試結果について

文責:円山校 井尾 敦

本年度当校の結果としては、札幌開成中等教育学校・立命館慶祥中学校・札幌日本大学中学校・光星中学校に合格を果たしました。受験で得られたこともあったと思いますので、今後引き続き頑張ってもらいたいと思います。 ※結果の詳細はHPをご覧ください。

さて今後の受験者の参考になればと、今回は特に「札幌開成中等教育学校」の受験結果を取り上げました。

☆ 募集人員160名に対して、今年は559人の出願者、倍率は3.5倍でした。

倍率は近年落ちてきている様子が見えますが、高校受験の倍率よりも数倍高い状況で難しいことは言うまでもありません。

☆ 問題傾向は大きく変わる様子はなく、対策した生徒であれば高得点は取れたと考えます。

札幌開成中等教育学校の入試問題は、他都府県の公立中高一貫校と比べて問題形式が大きく異なります。初めて問題を見る人はその形式に驚くはずですが、一般的に他の都府県公立中高一貫校は、教科に準じた総合問題の出題となりますが、札幌開成中等教育学校の問題は、思考力・表現力・判断力を存分に発揮しないといけない仕組みの出題です。特に適性問題Ⅱでは、記述が大問1で150文字~200文字、大問2で300文字~350文字と条件整理しながら45分間で記述するという、小学生の分量としては多い形式でした。この点は首都圏の公立中高一貫校で出される記述レベルに近いかもしれません。

☆ 当校の札幌開成対策は、個人指導で添削も行います。また問題形式が万一変化しても対応できるように全国の公立中高一貫校の問題も参考に解かせて対応できる試験準備をしております。

今後受験を検討される方は、このような学校もあることを踏まえて検討することも1つかもしれません。

その場合は、読むことに加えて、“書く”という作業も力を入れることが必要と考えます。

ちなみに2次試験のディスカッションのお題は「アイデアとはどのように生まれるか?」でした。皆さんも考えてみましょう。

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年
出願者	559人	515人	552人	593人	590人	733人
倍率	3.5	3.2	3.5	3.7	3.7	4.6

当塾では2月から新年度スタート! 合格するために何が必要か

道内の私立中学入試は1月の初旬に行われます。新小6の受験生にとってはこれから残された約10か月は
<裏面に続く>

どの期間、いかに準備していくかが合否を分けることとなります。

① 四谷大塚予習シリーズのテキスト（四谷クラスで使用）について

上位校・・・練習問題まで完全に解ける状態にまで復習すること。

中位校・・・基本問題までしっかりできるようにすること。

道内の私立一貫校の多くは、小学校内容の基本知識が定着しているかを確認することを主眼とした試験問題を作成しています。もちろん教科書レベルを大きく超えた出題も交じってきますが、合格することを目指したときには、難問・奇問の類は解けなくても大きな影響はありません。学校によって異なりますが、**例年おおむね5割から6割の得点率**で合格しています。練習問題の難問よりも、基本問題を繰り返し完璧にすることが大切です。

ただし、**上位校（北嶺・立命館慶祥など）を目指す人は、上記の内容にプラスアルファが必要です。**道外の難関校を視野に入れた、テキストの練習問題までをしっかりと解けるように取り組む必要があります。

② 目標・目的を明確にし、家族で共有することが大切

当然のことですが、**中学入試合格は最終目標ではなく、通過点です。**その先の大学・就職等につながる一過程なのです。従って、一貫校であれば6年間を過ごすことになる学校選びはとても重要です。「偏差値が高い」「大学合格実績が高い」というのは、自分自身が成長できる環境と同義ではありません。

1学期から各学校の説明会や学校見学等のイベントが始まります。**本命とする学校はもちろんですが、併願を検討する学校についても、必ず足を運び、また学校の先生のお話を聞いてください。**

失敗した時のことを考えるのは嫌なものですが、第一志望合格がかなわなかったときにどうするか（公立中に進学するか、第二志望の学校に進むか）、事前に親子で決めておくことも大切です。これも学校見学などで、進学した場合のイメージをしっかり作ることで固まってくると思います。そういった次善の策が明確であることが、入試に向けての不安を軽くし、結果合格に近づく力ともなります。

来年度の合格を見据えて学習している生徒の皆さん、そして保護者様、コツコツ努力する姿勢が養われれば中学入試だけではなく、その先一生の宝となる習慣が養われます。是非頑張ってください。

<2023年度四谷大塚 各種テストについて>

スケジュールの詳細は、授業を通じてお知らせしていきます。1学期（7月まで）の予定は下記のとおりです。

3月10日（金）～11日（土） 月例テスト① 公立中高一貫月例テスト①

4月9日（日） 合不合判定テスト①

5月5日（金）～6日（土） 月例テスト② 公立中高一貫月例テスト②

6月4日（日） **全国統一小学生テスト（予定）**

6月9日（金）～10日（土） 月例テスト③ 公立中高一貫月例テスト③

7月9日（日） 合不合判定テスト②

7月14日（金）～15日（土） 月例テスト④ 公立中高一貫月例テスト④



☆月例テストに関して予習ナビ受講者は必須となります。また合不合判定テスト、公立中高一貫校実力判定テストは受験生必須となります。週テスト希望者は別途詳細がありますのでお問い合わせください。（麻生校担当：西野）

麻生本校：001-0037 札幌市北区北37条西3丁目3-15 ☎011-716-7162

円山校：064-0820 札幌市中央区大通西23丁目1-1 ☎011-613-7755



2月、3月予定の詳細はQRコードからホームページでご覧下さい。

緊急連絡の際はLINEでお知らせ致します。

麻生本校 小中学部



円山校 小学部

